

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017年8月24日(24.08.2017)



(10) 国際公開番号
WO 2017/141534 A1

- (51) 国際特許分類:
A63H 3/50 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2016/087258
- (22) 国際出願日: 2016年12月14日(14.12.2016)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2016-026503 2016年2月16日(16.02.2016) JP
- (71) 出願人: 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.)
[JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 野口 勉 (NOGUCHI Tsutomu); 〒1118081
東京都台東区駒形一丁目4番8号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,

CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

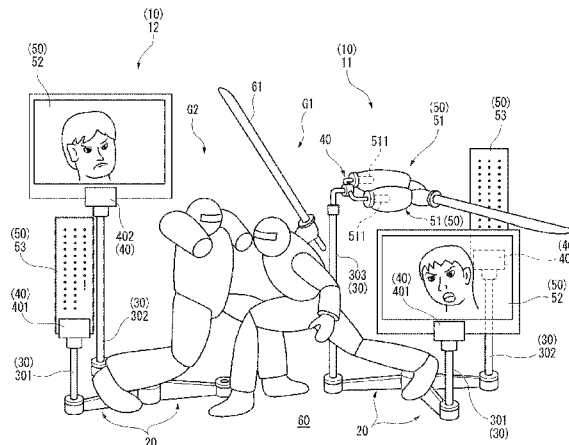
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第21条(3))

(54) Title: STAND FOR STAGING MEMBER

(54) 発明の名称: 演出部材用の台座



(57) Abstract: [Problem] To provide a stand for astaging member such that the staging member can be placed near a main toy in order to allow a sense of perspective, a sense of being present at a scene, and a sense of reality to be staged. [Solution] Leg members 201, 202, 203 are mutually and rotatably connected to support shafts 221, 222, 223, respectively. The length of support rods 301, 302, 303 attached to the leg members 20 and the shape of support members 40 provided at the support rods 30 can be selectively used from a variety of lengths and shapes. Accordingly, a combination of support rods 30, support members 40 and staging members 50 which differ in length, size or shape can be selected and placed near dolls G1, G2 in order to stage a scene presented by the dolls G1, G2 for the sense of perspective, the sense of being present at the scene and the sense of reality.

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2017/141534 A1



【課題】演出部材を主たる玩具の近傍に配置することにより奥行感、臨場感、リアル感等を演出できる演出部材用の台座を提供する。【解決手段】各脚部材201、202、203は、各支軸221、222、223が互いに回動可能に連結される。また、脚部材20に取り付けられる各支持棒301、302、303の長さ及び支持棒30に設けられる支持部材40の形態は、種々のものから選択的に用いることができる。このため、長さ、大きさ、及び形状のいずれかが異なる種々の支持棒30、支持部材40および演出部材50を選択して組み合わせ、人型玩具G1、G2の近傍に載置することにより、人型玩具G1、G2によって表現されている情景の、奥行感、臨場感、リアル感等を演出することができる。

明 細 書

発明の名称： 演出部材用の台座

技術分野

[0001] 本発明は、演出部材用の台座に関する。

背景技術

[0002] 従来、例えば２本脚の人型玩具を立った状態や所望の状態で飾るとき、自立させることが困難であるため、スタンド等の支持部材を用いるのが一般的である（特許文献１参照）。

特許文献１には、人型玩具を構成する胴部の背面に接続される複数の関節を有する支持部材と、支持部材を立設する台座部とを備えるフィギュア用ディスプレイスタンドが示されている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献１：実用新案登録第３１６５３０９号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかしながら、特許文献１に記載の支持部材では、人型玩具の足元に台座部を配置するため、台座部と人型玩具との位置関係について自由度が低く、展示効果を阻害する。

また、特許文献１に記載の支持部材は、人型玩具本体のみを支持するためのものであり、人型玩具に関連した演出効果を展示する場合には台座部と複数の関節が外観性を悪くし、適さない。

[0005] 本発明は、演出部材を主たる玩具の近傍に配置することにより、主たる玩具によって表現されている情景の奥行感、臨場感、リアル感等を演出できる演出部材用の台座を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明に係る演出部材用の台座は、連結部と、当該連結部の外方に突出す

るとともに載置面に接触可能な脚部と、前記脚部に設けられた挿入孔と、を有する複数の脚部材と、前記各挿入孔に挿入される支持棒と、前記各支持棒に連結される支持部と、前記各支持部に支持される演出部材と、を備え、前記各脚部材は、前記各連結部が回動可能に連結され、前記各支持棒は、長手方向長さ及び／または前記支持部の形態が異なる複数種類から選択的に前記各挿入孔に挿入され、前記演出部材は、複数種類から選択的に前記各支持部に支持されることを特徴とする。

[0007] また、本発明に係る演出部材用の台座においては、前記連結部は支軸であり、前記挿入孔は、前記支軸の軸線に対して平行であるようにしてもよい。

[0008] また、本発明に係る演出部材用の台座においては、前記各脚部材は、前記各連結部が互いに入れ子上に組み合わせられて互いに回動可能に連結されるようにしてもよい。

[0009] また、本発明に係る演出部材用の台座においては、前記各脚部材は、前記脚部の突出長さが異なる複数種類から選択的に組み合わせられるようにしてもよい。

[0010] また、本発明に係る演出部材用の台座においては、前記支持部は、前記支持棒に対して着脱可能であってもよい。

[0011] また、本発明に係る演出部材用の台座においては、前記脚部材、前記各支持棒及び前記各支持部材のいずれかは、無色透明であってもよい。

発明の効果

[0012] 本発明によれば、演出部材を主たる玩具の近傍に配置することにより主たる玩具によって表現されている情景の奥行感、臨場感、リアル感等を演出できる演出部材用の台座を提供することができる。

図面の簡単な説明

[0013] [図1]本発明の実施形態である演出部材用の台座の使用状態の一形態を示す斜視図である。

[図2]本発明の実施形態である演出部材用の台座の一例を示す斜視図である。

[図3]本発明の実施形態である演出部材用の台座の一例を示す分解斜視図であ

る。

発明を実施するための形態

[0014] [本発明の実施の形態]

図 1 は、本発明の実施形態である演出部材用の台座の使用状態の一形態を示す斜視図である。

[0015] 図 1 に示すように、演出部材用の台座 10 は、展示した人型玩具 G 1、G 2 の近傍に設置して演出部材を支持することに用いることができる。

ここでは、戦う 2 台の人型玩具 G 1、G 2 が展示されており、各人型玩具 G 1、G 2 にそれぞれ演出部材用の台座 10 が設置されている。従って、第 1 の演出部材用の台座 11 及び第 2 の演出部材用の台座 12 の 2 台の演出部材用の台座 10 が設置されている。

なお、図 2 及び図 3 の説明においては、特に明示する場合を除いて第 1 の演出部材用の台座 11 及び第 2 の演出部材用の台座 12 を区別せずに、演出部材用の台座 10 として説明する。

[0016] 図 2 及び図 3 に示すように、演出部材用の台座 10 は、載置面 60 に載置される複数の脚部材 20 を有する。

ここでは、3 個の脚部材 20 を有する場合を示しているが、2 個の脚部材 20 を有する場合及び 3 個以上の脚部材 20 を有する場合も可能である。なお、3 個以上の脚部材 20 を有すると、台座として安定するため望ましい。

[0017] 脚部材 20 は、1 本の脚部 21 を有しており、脚部 21 の長手方向一方の端部に支軸 22（本発明にいう「連結部」）を有するとともに、他方の端部には挿入孔 231 を有する。

脚部 21 は載置面 60 に載置されるため、下面が平坦な直線状の部材を用いるのが望ましい。例えば、底面が載置面 60 に接触可能な三角形断面の部材を用いることができる。

[0018] 支軸 22 は、脚部 21 の中心線を長手方向に延長した位置に設けられている。別言すれば、脚部 21（脚部材 20）は、支軸 22（連結部）に対して

支軸 2 2（連結部）の外方に突出している。支軸 2 2 は、脚部 2 1 の底面と平行な面状を呈しており、各脚部材 2 0 の支軸 2 2 を介して、各脚部材 2 0 が連結可能となっている。

例えば、最も下（すなわち、載置面 6 0 側）に配置される脚部材 2 0 1 の支軸 2 2 1 は、下面が脚部 2 1 の底面と同一面にある支軸板 2 4 を有しており、支軸板 2 4 の上面には、上方に突出する凸部 2 5 が設けられている。

[0019] また、脚部材 2 0 1 の上側に取り付けられる脚部材 2 0 2 の支軸 2 2 2（本発明にいう「連結部」）は、脚部材 2 0 2 の高さ方向の中央位置に支軸板 2 6 が設けられている。支軸板 2 6 には、支軸 2 2 1 の凸部 2 5 が挿入可能な貫通孔 2 7 が設けられている。

さらに、脚部材 2 0 2 の上側に取り付けられる脚部材 2 0 3 の支軸 2 2 3（本発明にいう「連結部」）は、脚部材 2 0 3 の高さ方向の最上位置に、支軸板 2 8 が設けられている。支軸板 2 8 には、支軸 2 2 1 の凸部 2 5 が挿入可能な貫通孔 2 9 が設けられている。

なお、各脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 における脚部 2 1 の長さは任意であり、種々の長さの脚部 2 1 を有する脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 を用意しておけば、任意に組み合わせることができる。

[0020] 従って、脚部材 2 0 1 の凸部 2 5 に脚部材 2 0 2 の貫通孔 2 7 を上側から外嵌し、さらに、脚部材 2 0 2 の上側から脚部材 2 0 3 の貫通孔 2 9 を脚部材 2 0 1 の凸部 2 5 に外嵌する。これにより、3 個の脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 の支軸 2 2 1、2 2 2、2 2 3 が入れ子状に連結される。

このとき、凸部 2 5 の外形を円筒状とし、貫通孔 2 7 及び貫通孔 2 9 を凸部 2 5 の外径よりも大きな内径を有する円形とすることにより、3 個の脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 は、支軸 2 2（本発明にいう「連結部」）を中心として着脱可能かつ回動可能に連結される（図 2 中矢印 A 参照）。

これにより、脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 を相対的に回動できるので、脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 の相対的な角度を、主たる玩具である各人型玩具 G 1、G 2 に接触せず、かつ、台座として安定するような適切な角度に

調節することが可能になる。

[0021] また、支軸板 2 4、支軸板 2 6 及び支軸板 2 8 の板厚及び設ける高さ位置を調整することにより、3 個の脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 を組み合わせた際に、支軸 2 2（本発明にいう「連結部」）は全体として円筒形状を形成することができ、美観を損ねない。

なお、脚部材 2 0 3 の支軸板 2 8 の下面に突起 2 8 1 を設けるとともに、脚部材 2 0 2 の支軸板 2 6 の上面に突起 2 8 1 が嵌入して移動可能な円形の溝 2 6 1 を設けることもできる。これにより、脚部材 2 0 2 と脚部材 2 0 3 とを、相互に回動可能に連結することができる（図 2 中矢印 A 参照）。

[0022] 脚部 2 1 の他方の端部には、脚部 2 1 の中心線を長手方向に延長する位置に、例えば円筒形状の支持棒挿入部 2 3 が設けられている。支持棒挿入部 2 3 の中央部には、脚部材 2 0 を載置面 6 0 に載置した際に載置面 6 0 と直交する方向に挿入孔 2 3 1 が設けられている。別言すれば、挿入孔 2 3 1 は支軸 2 2 の軸線と平行な方向に設けられていることになる。

なお、脚部 2 1 の一端に、挿入孔 2 3 1 を有する支持棒挿入部 2 3 を設けた場合を説明したが、支持棒挿入部 2 3 を設けることなく、挿入孔 2 3 1 を脚部 2 1 に直接設けることも可能である。また、本実施形態においては挿入孔 2 3 1 は脚部材 2 0 を載置面 6 0 に載置した際に載置面 6 0 と直交する方向に設けたが、これに限られず、挿入孔 2 3 1 の方向は任意に定めることができる。

[0023] 脚部材 2 0 の挿入孔 2 3 1 には、支持棒 3 0 が挿入されて支持される。支持棒 3 0 の下端部には挿入部 3 1 及び鰐部 3 2 が設けられている。挿入部 3 1 は脚部材 2 0 の挿入孔 2 3 1 に挿入され、鰐部 3 2 との協働により、支持棒 3 0 が動かないように支持される。支持棒 3 0 は、無色透明の材料を用いて形成することができ、このことにより、主たる玩具である各人型玩具 G 1、G 2 を演出部材とともに鑑賞する上で、支持棒 3 0 の存在が比較的に見る者の注意を引かないようにすることができる。

[0024] 支持棒 3 0 の上端には、演出部材 5 0 を支持するための支持部材 4 0（本

発明にいう「支持部」）が連結される。支持部材４０は、支持棒３０の先端を挿入して支持棒３０に着脱可能に取り付ける取付部４１と、演出部材５０を保持する演出部材保持部４２を有する。

なお、支持部材４０は、支持棒３０と一体のものとして支持棒に設けられていてもよいことは勿論であるが、本実施形態のように、取付部４１を介して支持棒３０に着脱自在に取り付けるようにすれば、同じ支持棒３０でも、演出部材の形状に応じて支持部材４０を付け替えることができるようになり、利便性が高い。また、支持部材４０も無色透明の材料を用いて形成することができ、このことにより、主たる玩具である各人型玩具Ｇ１、Ｇ２を演出部材とともに鑑賞する上で、支持部材４０の存在が比較的に見る者の注意を引かないようにすることができる。

[0025] 演出部材５０としては、プレート状のものや、主たる玩具の付属物（切断された腕部等）等があるが、これに限定するものではない。

また、プレート状の演出部材５０としては、人型玩具が示す状況の説明、登場人物の台詞、効果音等の文字列を記載したプレートや、登場人物の表情を描いたプレート等が例示できる。

[0026] 取付部４１は、例えば円筒部材を用いることができ、支持棒３０の先端を着脱可能に挿入する挿入孔４１１を有する。

演出部材保持部４２は、演出部材５０を保持するものであり、保持方法は特定しない。例えば、演出部材５０がプレート状である場合には、支持部材４０として演出部材５０を厚さ方向に挟むものを用いることができる。

[0027] あるいは、演出部材５０が切断された腕部５１（図１参照）のような物である場合には、腕部５１に設けられている嵌合孔５１１に嵌合可能な取付部材４３を演出部材保持部４２として用いることができる。

なお、図２においては、２個の取付部材４３を有する支持部材４０を例示しているが、取付部材４３は、１個あるいは３個以上でも可能である。

[0028] 支持部材４０は、接続部材３３を介して支持棒３０の先端に取り付けることもできる。接続部材３３は、支持棒３０の先端を延長するように取り付け

る延長部 331 と、異なる角度で屈曲され、先端が支持部材 40 の取付部 41 に取り付け可能な延長取付部 332 とを有する。なお、接続部材 33 は支持棒 30 に対して着脱可能であるとともに、支持部材 40 に対しても着脱可能である。

接続部材 33 は様々な角度のものが用意されており、この中から所望の角度の接続部材 33 を選択することにより、支持部材 40 で支持している演出部材 50 の支持棒 40 に対する取付角度を、容易に変えることができる。

[0029] 図 1 には、本実施形態の演出部材用の台座 10 を用いた状態の一例が示されている。ここでは、操縦者搭乗型の 2 個の人型玩具 G1、G2 が展示されており、人型玩具 G1 が保持している武器 61 で、人型玩具 G2 の腕部 51 を切断した状況が示されている。

人型玩具 G1 の近傍には、第 1 の演出部材用の台座 11 が設置されており、人型玩具 G2 の近傍には、第 2 の演出部材用の台座 12 が設置されている。なお、人型玩具 G1、G2 は、自立可能あるいは人型玩具用の支持部材（図示省略）で支持されており、演出部材用の台座 10 では支持されてはいないが、演出部材用の台座 10 で支持するようにしてもよい（図示省略）。

[0030] 人型玩具 G1 の近傍に設置されている第 1 の演出部材用の台座 11 では、2 本の支持棒 301、302 の上部にプレート状の演出部材 50 を支持するための支持部材 401、402 が取り付けられている。また、支持棒 303 の上部には、人型玩具 G1 によって切断された人型玩具 G2 の腕部 51 を支持する支持部材 40 が取り付けられている。

[0031] 支持棒 301 には、プレート状の画像表示板 52 が支持されており、例えば人型玩具 G1 に搭乗している操縦者の表情等を表示することができる。支持棒 302 には、プレート状の文字表示板 53 が支持されており、人型玩具 G1 に登場している操縦者が云うセリフ等が表示されている。なお、画像表示板 52 及び文字表示板 53 は、印刷または刻印または印刷物を貼った板状の部材を用いることができるが、液晶表示板を用いることもできる。

また、支持棒 303 の上部には、切断された腕部 51 が支持されている。

[0032] 人型玩具 G 2 の近傍に設置されている第 2 の演出部材用の台座 1 2 は、上述した第 1 の演出部材用の台座 1 1 と同様のものを用いることができる。ここでは、切断された腕部 5 1 に該当するものはないので、第 1 の演出部材用の台座 1 1 の支持棒 3 0 3 に対応する支持棒は設けられていない。また、短い支持棒 3 0 1 に文字表示板 5 3 をとりつけ、長い支持棒 3 0 2 に画像表示板 5 2 をとりつけている。

[0033] 次に、本実施形態に係る演出部材用の台座 1 0 の作用、効果について説明する。

本実施形態に係る演出部材用の台座 1 0 は、各脚部材 2 0 1、2 0 2、2 0 3 は、各支軸 2 2 1、2 2 2、2 2 3 が互いに入れ子状に組み合わせられて回動可能に連結されるとともに、脚部 2 1 の突出長さが異なる複数種類から選択的に組み合わせることができる。

また、脚部材 2 0 に取り付けられる各支持棒 3 0 1、3 0 2、3 0 3 の長さ及び支持棒 3 0 に取り付けられる支持部材 4 0 の形態は、種々のものから選択的に用いることができる。

[0034] このため、長さ、大きさ、及び形状のいずれかが異なる種々の脚部材 2 0、支持棒 3 0、支持部材 4 0、および演出部材 5 0 の中から所望のものを選択して組み合わせ、人型玩具 G 1、G 2 の近傍に載置することにより、人型玩具 G 1、G 2 によって表現されている情景の、奥行感、臨場感、リアル感等の効果を演出することができる。

[0035] また、本実施形態に係る演出部材用の台座 1 0 においては、支持部材 4 0 は、支持棒 3 0 に対して着脱可能であってもよい。

これにより、種々の支持部材 4 0 を容易に組み合わせることができる。

[0036] また、本実施形態に係る演出部材用の台座 1 0 においては、支持部材 4 0 は、支持棒 3 0 と一体に形成されていてもよい。

これにより、支持棒 3 0 を選択すると自ずと支持部材 4 0（支持部）の形状も決まることになるので、主たる玩具である人型玩具 G 1、G 2 の近傍に演出部材を配置する遊びに不慣れな使用者にとっては適切に演出部材を適切

な位置に配置できるようになり遊びやすい。

[0037] さらに、本実施形態に係る演出部材用の台座 10 においては、各脚部材 20、各支持棒 30 及び各支持部材 40 のいずれかが、無色透明であってもよい。

これにより、演出部材用の台座 10 自体の存在感を希薄化でき、人型玩具 G1、G2 及び演出部材 50 を目立たせることができるので、外観性が良くなり、奥行感、臨場感、リアル感等を演出することができる。

[0038] 本発明の演出部材用の台座は、前述した実施形態に限定されるものでなく、適宜な変形、改良等が可能である。

符号の説明

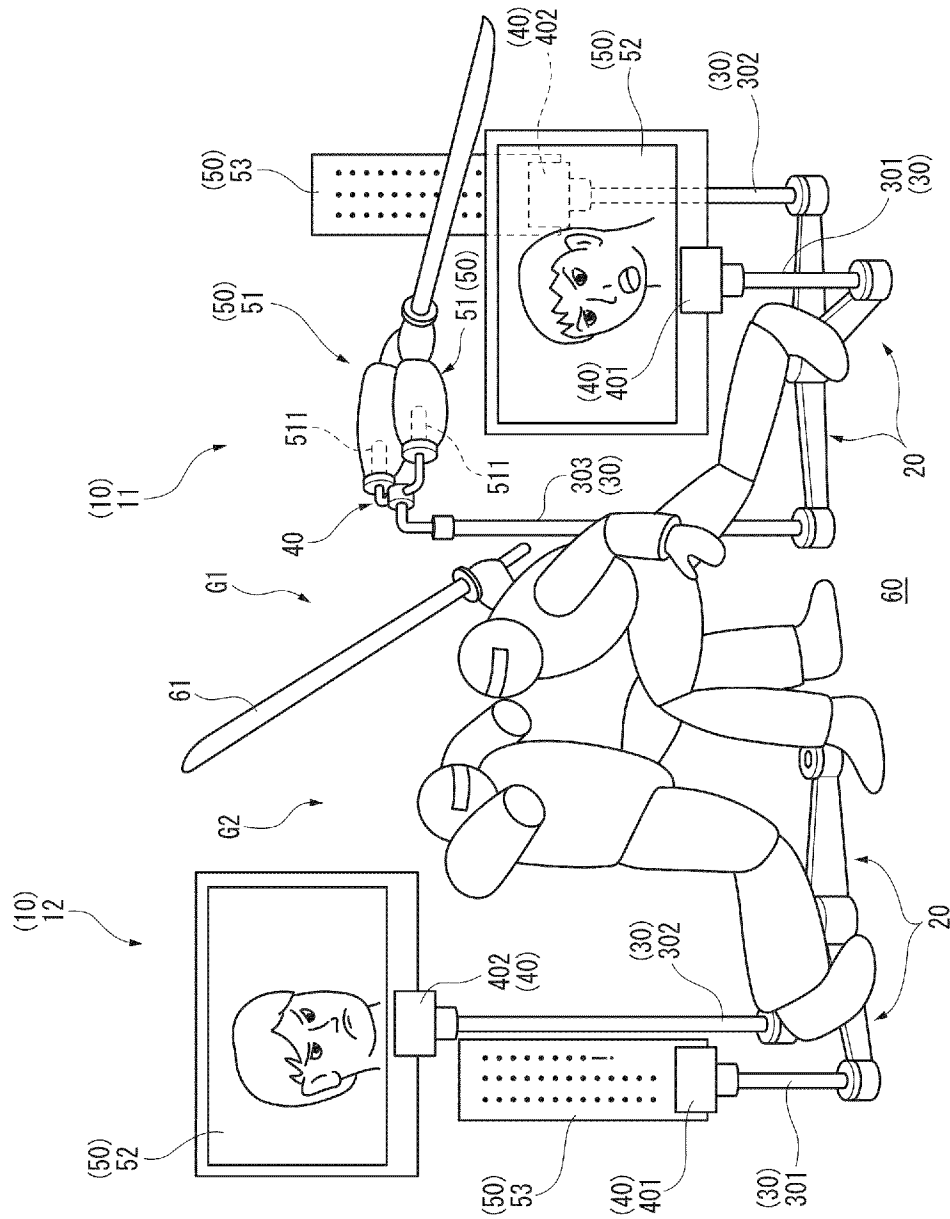
[0039] 10 演出部材用の台座
20、201、202、203 脚部材
21 脚部
22、221、222、223 支軸（連結部）
231 挿入孔
30、301、302、303 支持棒
40 支持部材（支持部）
50 演出部材
60 載置面

請求の範囲

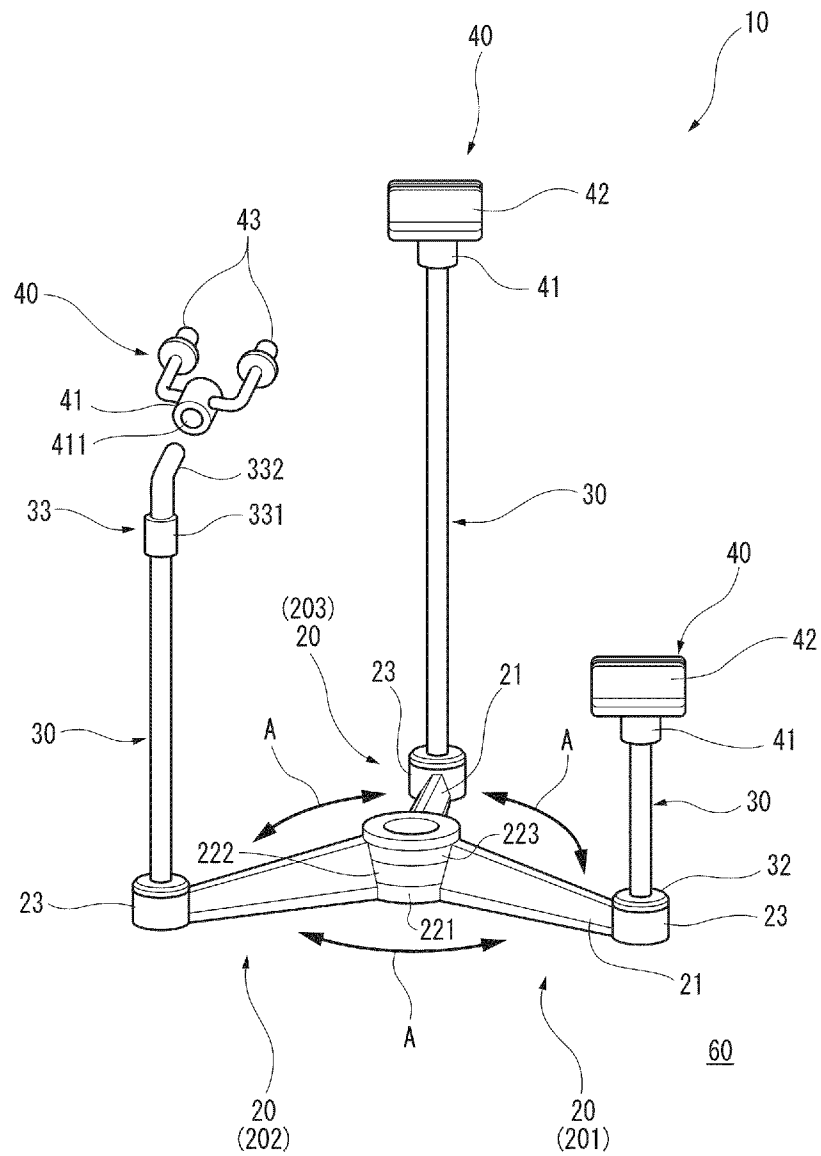
- [請求項1] 連結部と、当該連結部の外方に突出するとともに載置面に接触可能な脚部と、前記脚部に設けられた挿入孔と、を有する複数の脚部材と、
、
前記各挿入孔に挿入される支持棒と、
前記各支持棒に設けられた支持部と、
前記各支持部に支持される演出部材と、を備え、
前記各脚部材は、前記各連結部が互いに回動可能に連結され、
前記各支持棒は、長手方向長さ及び／または前記支持部の形態が異なる複数種類から選択的に前記各挿入孔に挿入され、
前記演出部材は、複数種類から選択的に前記各支持部に支持される演出部材用の台座。
- [請求項2] 請求項1記載の演出部材用の台座であって、
前記連結部は支軸であり、
前記挿入孔は、前記支軸の軸線に対して平行であることを特徴とする演出部材用の台座。
- [請求項3] 請求項1又は2記載の演出部材用の台座であって、
前記各脚部材は、前記各連結部が互いに入れ子上に組み合わせられて互いに回動可能に連結されることを特徴とする演出部材用の台座。
- [請求項4] 請求項1乃至3のいずれか1項に記載の演出部材用の台座であって、
、
前記各脚部材は、前記脚部の突出長さが異なる複数種類から選択的に組み合わせられることを特徴とする演出部材用の台座。
- [請求項5] 請求項1乃至4のいずれか1項記載の演出部材用の台座であって、
前記支持部は、前記支持棒に対して着脱可能である演出部材用の台座。
- [請求項6] 請求項1乃至5のいずれか1項記載の演出部材用の台座であって、
前記脚部材、前記各支持棒及び前記各支持部のいずれかは、無色透

明である演出部材用の台座。

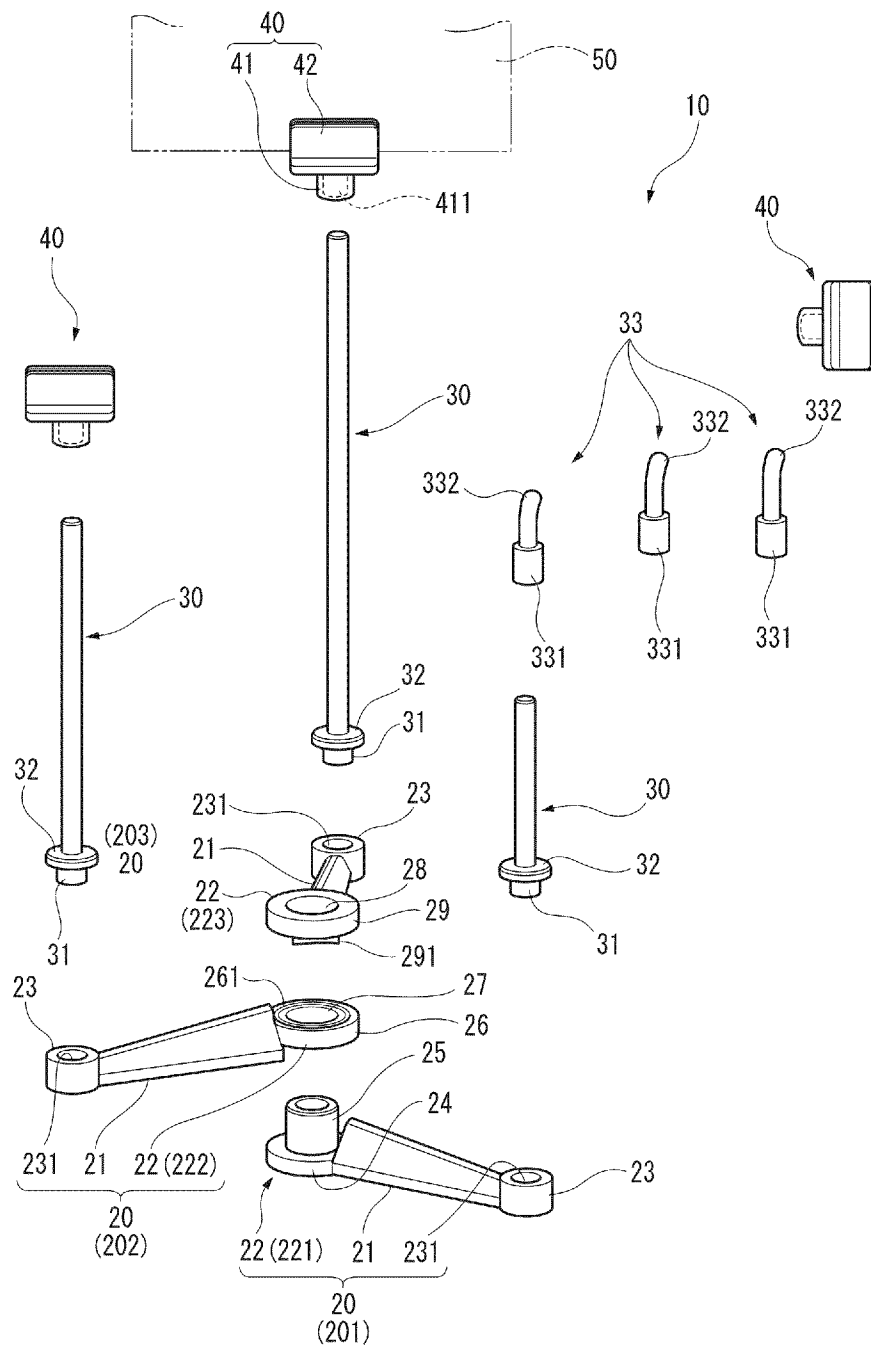
[図1]



[図2]



[図3]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/087258

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A63H3/50(2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H3/50

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2017
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2017	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2017

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	di:stage, GOOD SMILE COMPANY [online], 2015.01.08, {URL:http://web.archive.org/web/ 20150108164843/http://www.goodsmile.info/ja/ product/2462/di+stage+%E5%9F%BA%E6%9C%AC+%E3%83 %99%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%83%E3%82%AF+%E3%82% BB%E3%83%83%E3%83%88.html}	1-6
A	JP 2003-325992 A (Takara Co., Ltd.), 18 November 2003 (18.11.2003), abstract; fig. 1, 2 (Family: none)	1-6
A	US 6739936 B1 (Cotilleta), 25 May 2004 (25.05.2004), abstract (Family: none)	1-6

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
03 March 2017 (03.03.17)

Date of mailing of the international search report
14 March 2017 (14.03.17)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/087258

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 3165309 U (Yamato Corp.), 13 January 2011 (13.01.2011), abstract (Family: none)	1-6
A	JP 3119126 U (Macom Inc.), 16 February 2006 (16.02.2006), abstract (Family: none)	1-6
A	JP 3196196 U (Tomy Co., Ltd.), 26 February 2015 (26.02.2015), fig. 2 (Family: none)	1-6

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A63H3/50(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A63H3/50

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2017年
日本国実用新案登録公報	1996-2017年
日本国登録実用新案公報	1994-2017年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

JP0-Internal

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	di:stage, GOOD SMILE COMPANY [online], 2015.01.08, {URL : http://web.archive.org/web/20150108164843/http://www.goodsmi le.info/ja/product/2462/di+stage+%E5%9F%BA%E6%9C%AC+%E3%83%9 9%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%83%E3%82%AF+%E3%82%BB%E3%83%83%E3% 83%88.html}	1-6
A	JP 2003-325992 A（株式会社タカラ）2003.11.18, 要約欄, 図1, 図2（ファミリーなし）	1-6

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

03.03.2017

国際調査報告の発送日

14.03.2017

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

彦田 克文

2D

9182

電話番号 03-3581-1101 内線 3241

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	US 6739936 B1 (Cotilleta) 2004.05.25, Abstract (ファミリーなし)	1-6
A	JP 3165309 U (株式会社やまと) 2011.01.13, 要約欄 (ファミリーなし)	1-6
A	JP 3119126 U (株式会社マコム) 2006.02.16, 要約欄 (ファミリーなし)	1-6
A	JP 3196196 U (株式会社タカラトミー) 2015.02.26, 図2 (ファミリーなし)	1-6